

主 文

本件上告を棄却する。

理 由

被告人の上告趣旨（後記）は、量刑不当の主張であるから、刑訴応急措置法一三条二項により上告適法の理由にならない。

よつて、旧刑訴四四六条により主文のとおり判決する。

この判決は、裁判官全員一致の意見である。

検察官 渡部善信関与

昭和二六年三月六日

最高裁判所第三小法廷

裁判長裁判官	長 谷 川	太 一 郎
--------	-------	-------

裁判官	井 上	登
-----	-----	---

裁判官	島	保
-----	---	---

裁判官	河 村	又 介
-----	-----	-----